

笑顔つどうデイサービス

《デイサービスからお知らせ》

7月5日(水)にデイサービスにて開催するハーブ演奏会を
市民新聞に掲載していただきました。

☆☆☆たくさんのご来場を心からお待ちしております☆☆☆

令和5年6月28日(水)発行

「ハーモニー^{くめぎ}櫛」代表
やまもと くにこ
山本 邦子さん
=十倉中町

この人にきく
談話室 ⑧



両親の世話にめどがついて大阪と綾部との長年の「2拠点生活」を終え、半年前から十倉中町の自宅で暮らしている。そんな元小学校音楽教師の山本邦子さんが今大切にしているのは、美しく優しい音色で知られるヘルマンハーブの演奏活動。7月5日には、十倉名畑町の通所介護事業所「いこいの村デイサービスセンター」が開く「ハーブ演奏会」で、このドイツ生まれの弦楽器に魅せられた市内の女性たちのグループリーダーとして通所介護施設の利用者や地域住民らの前でヘルマンハーブの演奏を披露する。

(聞き手・高崎忍)

プロフィール 1946年、岡山県総社市生まれ。大学を出て大阪府豊中市立の小学校の音楽教師として長年勤務。19年余り前、十倉中町に完成した農村住宅地「櫛の里」にある自宅で、去年から本格的に市内の女性たちとヘルマンハーブを中心にした音楽活動を楽しんでいる。

ー日本ではまだまだ知られていないヘルマンハープについて教えてください。

ドイツでダウン症を背負ってこの世に生まれてきた音楽好きの息子のため、1987年にヘルマン・フェー氏が生み出した楽器です。楽譜が読めない人でも、ヘルマンハープ専用の楽譜を弦と本体との間に差し込んで弦の下から現れた音符を弾くと素敵なメロディーが弾けるんですよ。

日本では、日本ヘルマンハープ振興会

美しく優しい音色が特徴

会長を務める梶原千沙都さんが2004年から日本での普及の任務を一任され、その活動が広がっています。

ー改めて、ヘルマンハープの魅力とは何でしょうか。

音符が読めなくても誰でも演奏ができます。優しくきれいな音色が魅力的で、演奏を聞くと神経が休まります。作曲や編曲も自分好みができるし、笛やハーモニカ、琴、キーボードなどの合奏も楽しい

ですね。綾部では、私も「ハーモニー櫟」のメンバーの一員としてハープの合奏を楽しんでいます。

ー7月5日に「いこいの村デイサービスセンター」が同施設のフロアで催す「ハープ演奏会」の内容は。

午後2時開場、同2時15分開演、同3時に終了予定（入場無料）です。出演するのは私たち「ハーモニー櫟」の11人。「一人でも多くの皆様にお越しいただき、一緒に楽しんでいただければ」と思っています。

います。

この日演奏する曲目は第1部「やさしいハープの音色」（ムーンリバー、夢路より）。第2部「懐かしの名曲」（学生時代、知床旅情、瀬戸の花嫁）。第3部「みんなで歌いましょう」（月の砂漠、雨降りお月さん、うみ、七夕、夕焼け小焼け）。誰もが知っている歌ばかりです。問い合わせは同センター、☎46・0155まで。

令和5年7月3日(月)発行

ヘルマンハープ 5日に無料演奏会 いこいの村デイサービスセンター



いる。

出演するのは、綾部のボランティアのアグルー「ハー

美しい音色で聴く人の神経を休ませる「ヘルマンハープ」の演奏会が5日午後2時15分から、十倉名畑町の「いこいの村デイサービスセンター」で開かれる。入場無料で、同センターの利用者の家族や地元の人々などの来聴を歓迎して

モニー櫟（山本邦子代表、11人）。3部制で「ムーンリバー」や「学生時代」「月の砂漠」など誰もが知る懐かしい歌10曲余りの演奏がある。

問い合わせは同センター（☎46・0155）。

【高崎忍】